令和６年度　富加町教育計画

２０２４年４月

富加町教育委員会
〒５０１－３３９２　岐阜県加茂郡富加町滝田１５１１
Tel　0574-54-2177（教育課直通）
kyoiku-g@town.tomika.lg.jp
kyoiku-g@town.tomika.gifu.jp（外部）

令和6年度

富加町教育計画

大きいひよこ・小さいひよこ教室　合同運動会

とみかこども園　読み聞かせ

富加小学校　ザリガニ釣り（２年生）

双葉中学校　命のバトン教室

富加町教育委員会

目　　次

○　富加町の教育目標　・・・　１

　教育目標　・・・　２

　富加町民憲章　・・・　２

○　富加町生涯学習構造図　・・・　３

○　富加町教育新生プラン　・・・　４

○　地域社会の教育力の向上　・・・　５

○　家庭の教育力の向上　・・・　６

○　園・学校の教育　・・・　７

○　青少年の健全育成　・・・１０

○　人権尊重の教育の推進　・・・１１

○　自主的・継続的に取り組む生涯スポーツの促進　・・・１２

○　文化の振興と文化財の保護・活用　・・・１３

＜町の木　ドウダンツツジ＞

文化の振興と文化財の保護・活用

文化振興の重点と施策

文化芸術を創造する人づくり，環境づくりに向けて，各種文化団体，児童生徒に発表の場を提供するとともに，自主的な文化芸術活動を積極的・継続的に支援します。資料館は町の文化財保存活用の推進拠点として位置付け，文化財情報の積極的な提供に努めるとともに，文化財の保存と活用に取り組みます。

重点① 文化・芸術活動の推進

施 策

◇自主運営講座の推進・広報活動の工夫
◇自主学習グループ・サークルの育成
◇学びを確認し合い，町民に知らせる場の設定
◇町芸能連盟の活動推進
◇地域指導者の育成

関連事業

◇マイ講座　◇ロビー展示
◇ふれあいオンステージ
◇町民まつり文化部門展示
◇生涯学習情報誌の発行
◇生涯学習アドバイザー事業
◇読書サークル活動の支援

重点② 文化施設の活用

施 策

◇「資料館育ちの子どもたち」の育成
◇郷土資料館，文化財，史跡の活用
◇小中学校の授業との連携

関連事業

◇郷土資料館子ども講座
◇歴史講演会
◇史跡・文化財めぐり
◇社会科や総合的な学習の時間の授業
◇文化財サポーターの養成

重点③ 文化的所産などの保護・保存・活用

施 策

◇文化所産の調査，研究の推進
◇指定文化財の保護
◇住民が文化財を学ぶ事業の推進
◇町内の古墳調査
◇史跡等活用のための環境整備と情報発信

関連事業

◇夕田墳墓群保存活用計画作成
◇半布里文化遺産協議会事業
◇とみかの歴史 PR 事業
◇指定文化財修復事業

自主的・継続的に取り組む生涯スポーツの促進

社会体育の重点と施策

町民のだれもが，心身の健康を維持・増進し，明るく豊かで活力に満ちた生活を営むために，「町民一人１スポーツ」を合い言葉に生涯の各時期にわたり，それぞれの体力・年齢等の条件や目的に応じて，日常の中で自主的・継続的に，スポーツ活動に親しむことができる体制づくりに取り組みます。また，仲間づくりを促進しながら，仲間や相手を尊重する態度，ルールやモラルの遵守，新たな生きがいの発見，スポーツマンシップの考え方の浸透を目指し，青少年の健全育成とも合わせて，住みよい地域社会の形成のために，生涯スポーツの振興に努めます。

重点① 「町民一人１スポーツ」を目指した生涯スポーツの促進

施 策

◇生涯の各時期に応じたスポーツ活動の推進

◇生涯スポーツの情報発信

関連事業

◇スポーツ教室・体験
◇レクリエーションフェスティバル
◇スポーツ推進委員研修会
◇とみかスイミング教室
◇情報誌「マイタウン」の発行

重点② スポーツを通した青少年の健全育成の推進

施 策

◇スポーツ少年団各団の連携強化と活動支援

◇子ども向けスポーツ教室の開催

関連事業

◇スポ少指導者研修会
◇水泳交流会・奉仕活動

重点③ 競技力の向上を目指した取組の充実

施 策

◇体育協会の主体的な活動の促進
◇広報活動による啓発

関連事業

◇加茂郡体育大会
◇坂井杯争奪中濃地区剣道大会
◇加茂駅伝・中濃駅伝大会

重点④ 地域のふれあいを育むスポーツの促進

施 策

◇スポーツ団体，体育委員の行事運営への参加協力

◇ＭＴ夢クラブ２１の活動支援

関連事業

◇町民スポーツ大会
◇スポーツ活動指導者講習会
◇歩け歩け大会
◇ゴルフ大会

重点⑤ 社会体育を推進する環境の整備

施 策

◇半布ヶ丘公園施設の適正管理

関連事業

◇施設安全点検・維持管理
◇利用者の声を反映

富加町の教育目標

富加町は，先土器時代の恵日山遺跡や，岐阜県最古の夕田茶臼山古墳をはじめとする古墳が点在するとともに，奈良正倉院に残る半布里戸籍（大宝二年戸籍）のゆかりの地として知られ，早くから生活技術・生活文化が育まれ，発展してきたことがうかがえる，悠久の歴史とロマンが香る町です。

江戸時代，尾張藩領をはじめ，いくつかの旗本領に分かれて統治された村々は，明治維新後に富田村と加治田村になりました。そして，昭和２９年に両村が合併して富加村となり，この２０年後に富加町が誕生しました。

明治以来続いた富田，加治田の両小学校は，昭和５０年に統合され富加小学校となり，戦後の新学制によって新設された富加中学校は，昭和４４年に美濃加茂市立北中学校と統合し，組合立双葉中学校となりました。こうした合併や統合は，近隣住民の融和の促進と，文化の融合に大きく貢献し，現在の富加町の礎となっています。

現在の富加町は，人と人とのふれあいや地域のつながりを大切にしていますが，転入者の増加により人口が微増傾向にあり，住民のライフスタイルも多様化しています。

このような町の変化に加えて，少子高齢化，急速な情報化社会の進展，コロナ禍等によって，大きく社会の様子が変化し，人々のもつ社会性，物事に対する意識や価値観が今までと違うものになり、めまぐるしく変化する予測困難な社会を生き抜く力が求められるようになりました。

富加町の長い歴史の中で培われてきた協力し助け合う風土や温和な地域性等，家庭や地域が本来もっていた教育力を生かしながら，転入者も交えたすべての町民で，地域における人間関係の希薄化，基本的生活習慣の乱れ，規範意識の欠如，意欲や自立心の低下といった課題に取り組んで，子ども達の生きる力を育てていくことが必要であると考えます。

子どもたちに生きる力を育成するためには，社会人として求められる基礎的・基本的な内容の習得，それを基底とした個性を伸ばし生かす教育，自ら学ぶ意欲創出のための機会や，社会の変化に主体的に対応できる能力を育成する場の提供，他を思いやる心や奉仕の心の醸成のための支援など，私たちのなすべきことは多くあります。

このようなことから，町では町民憲章を主題とし，教育大綱を基にして，定住自立圏構想に基づく施策や事業と関連させつつ「ふるさと富加」を愛し，誇りに思う子ども達を育てます。そして，生涯学習の基本理念をふまえた教育の振興を図り，活力ある町づくりを通して，豊かな人間性の育成を目指します。 以上の見地から，富加町の教育目標を次のように定めます。

【教育目標】

生涯にわたり
充実した人生と　活力あふれる町づくりに
主体的に参画する　豊かな人間性の育成を図る

【富加町民憲章】

わたしたちは，豊かな自然に恵まれたこの町を愛し，先人の恩恵に感謝し，心を合わせて，いっそう住みよい町づくりのために，この憲章を定めます。

1　自然はみんなのもの

美しいみどりや清い流れをたいせつにして，うるおいのあるまちをつくりましょう。

2　健康は人の宝

保健と安全につとめ体力づくりにはげんで，活気のあるまちをつくりましょう。

3　勤労は人のつとめ

働くことによろこびをもち，しごとをとおして，豊かなまちをつくりましょう。

4　教養は人の誇り文化のみなもと

進んで幅広い教養を身につけ，文化のかおり高いまちをつくりましょう。

5　社会は人の和

きまりを守り助け合って，明るく楽しいまちをつくりましょう。

人権尊重の教育の推進

人権教育の基本方針

人権教育の中心となる理念は，憲法及び教育基本法の本旨に則り，人権尊重の精神を貫くことによって，民主的人間としての資質の育成と，民主的人間関係の醸成を図ることにあります。富加町では，「差別や偏見の撤廃と温かい人間関係の醸成」と「人権尊重の理解と実践を目指した学習機会の設定」を柱に，様々な人権問題に対する認識力・自己啓発力・行動力を育成し，確かな人権感覚が身につくよう，学校教育及び社会教育において取り組みます。

重点① 家庭教育への支援

施策

◇人権尊重の精神に基づいた家庭教育の推進
◇子育てに関する相談体制の充実

関連事業

◇家庭教育学級
◇パパママ教室
◇子育て支援センター事業

重点② 地域社会における学習機会・啓発活動の充実

施策

◇学校教育との連携
◇学校・各団体における共通指導事項の採択
◇人権教育を充実させるための環境づくり

関連事業

◇命のバトンふれあい教室
◇インリーダー研修会
◇機関誌「いくせい」の発行
◇団体育成部会

重点③ 人権教育を行う指導者の育成・資質の向上

施策

◇社会教育関係団体等における人権教育研修の充実

関連事業

◇地域育成部会
◇家庭教育学級指導者研修会

重点④ いじめや体罰は許されない気風の醸成

施策

◇青少年育成のリーダー研修の場での啓発
◇家庭教育学級等での学びの場の設定
◇関係機関との連携

関連事業

◇インリーダー研修・デイキャンプ
◇家庭教育学級 及び 運営会議
◇青少年育成研修会
◇いじめ問題対策連絡協議会

分野別課題

人権問題で取り組む具体的課題

①女性に関わること　②子どもに関わること　③高齢者に関わること
④障がい者に関わること　⑤同和問題に関わること　⑥外国人に関わること
⑦インターネットによる人権侵害に関わること
⑧その他の人権侵害に関わること
（感染症患者・犯罪被害者・刑を終えて出所した人・性的少数者　等）

青少年の健全育成

青少年育成の重点と施策

富加町の青少年育成は，特に「地域社会の一員としての自覚」「大人自らが行動で示す社会規範」「地域のコミュニティ」を育てることに力を入れ，青少年育成推進員をはじめとする地域指導者の指導のもとに町民が主体となって行います。

重点① 青少年活動を支援する環境づくり

施 策

◇社会教育関係団体の連携強化と自治会との連携
◇広報誌を通じての啓発

関連事業

◇青少年を守るつどい◇団体育成部会
◇ラジオ体操会　◇夜間巡回
◇機関誌「いくせい」の発行
◇とみか町民あいさつ運動

重点② 青少年育成関係団体の指導者育成と主体的活動の支援

施 策

◇富加の青少年を育てる会の組織の機能化
◇子ども会育成連絡協議会の育成者養成
◇推進員の確保

関連事業

◇育成指導者研修会
◇全員協議会
◇推進員会

重点③ 青少年の体験活動の目的の明確化

施 策

◇地域の青少年リーダーの育成
◇自然体験活動の場の設定

関連事業

◇キャンプ場備品確認
◇リーダーデイキャンプ
◇球技大会
◇インリーダー研修

重点④ 青少年の健やかな育成を目指した学校との連携

施 策

◇学校との情報共有と共通理解
◇奉仕体験活動への協力

関連事業

◇共通指導事項の設定
◇中学生ボランティアの募集
◇町の行事への積極的参加

重点⑤ 情報モラルに関する啓発の充実

施 策

◇地域育成部会での啓発活動，
◇家庭教育学級との連携
◇社会教育だよりを通じての啓発

関連事業

◇情報誌「マイタウン」の発行
◇富加小家庭教育学級と連携した「情報モラル教室」の開催

富加町　生涯学習構想図

富加町民憲章

一、自然はみんなのもの（美しいみどりや清い流れを大切にして、うるおいのあるまちをつくりましょう）
一、健康は人の宝　（保健と安全につとめ体力づくりにはげんで、活気のあるまちをつくりましょう）
一、勤労は人のつとめ　（働くことによろこびをもち、しごとをとおして豊かなまちをつくりましょう）
一、教養は人の誇り文化のみなもと（進んで幅広い教養を身につけ、文化のかおり高いまちをつくりましょう）
一、社会は人の和　（きまりを守り助け合って、明るく楽しいまちをつくりましょう）

富加町の教育目標

生涯にわたり　充実した人生と活力あふれる町づくりに　主体的に参画する　豊かな人間性の育成を図る

地域で育む

地域社会の一員としての自覚　大人が自ら行動で示す社会規範　地域の仲間とのパートナーシップ

自主活動団体
公民館
郷土資料館
B&G海洋センター
青少年を育てる会
体育協会・文化関係団体
自治会

理想とする人生像の実現
趣味の充実
社会的役割の自覚と遂行
円満な家庭
健康維持に関わる知識と実践
地域の仲間との良好な人間関係
職業や子育ての専門的な知識の習得

ボランティア活動
各種サークル活動
各種講座
家庭教育学級
高齢者大学
地域行事

富加町のめざす子どもの姿

思いやる子　自ら学ぶ子　やりぬく子（自立・共生・創造）

生きるための力
自立力
共生力
創造力

園・学校で育む（学校運営協議会）

共に生きる力　思いやりの心をもち、他者と関わり合う力
自ら学ぶ力　主体的に学び、課題を解決する力
やりぬく力　夢や志をもち、やりぬく力

健やかな体の育成
体づくりの推進
健康教育・食育の推進

自己有用感の育成
居場所のある学級
達成感のある集団活動
よさを伸ばす進路指導

豊かな人間性の育成
感動体験
スポーツ・文化・芸術等の意味や価値の理解

ふるさとへの誇りと愛着の育成
家庭との共通理解・共通指導
ふるさと教育

自ら学ぶ力の育成
主体的・対話的な学び
探究的学習、ICT の利活用

MT夢クラブ
スポーツ少年団
児童センター
放課後児童クラブ
あゆみ教室
子育て支援センター
保健センター

地域学校協働活動
・学校活動の支援
・学校との連携

子ども向け講座
子ども会活動

PTA
・学校活動の支援
・家庭教育の推進
・地域との連携

家庭教育学級
ひよこ教室
たまご教室
さくらんぼ教室
パパママ教室

家庭で育む

あたたかさ　愛し 愛され 親子の信頼関係を築く
かしこさ　自己抑制力を身に付け，心豊かな生き方を目指す
きびしさ　ルールを守り自分の役割を果たす

3つの実践項目　家族のふれあい　基本的生活習慣　食生活

基本的生活習慣の習得
健康な心と身体
自己抑制力

親子の信頼関係づくり
愛されている実感

高齢期
成人期
青年期
少年期
幼児期
乳児期
妊娠期

自己責任
準備期間
大人（親）の責任

富加町教育新生夢プラン

富加町のめざす子どもの姿

思いやる子　自ら学ぶ子　やりぬく子

地域で育む

◇地域社会の一員としての自覚
◇大人自らが行動で示す社会規範
◇地域の仲間とのパートナーシップ

人権の視点
・良いことは褒め、間違ったことは叱る
・「子どもは地域の宝」との認識をもつ

園・学校で育む

共に生きる力
思いやりの心をもち
他者と関わり合う力

自ら学ぶ力
主体的に学び
課題を解決する力

やりぬく力
夢や志をもち
やりぬく力

人権の視点
・自分・友だちのよさを見つめさせる
・命の大切さを教え伝える

中学生（青年期）
◇自分にふさわしい生き方を見つけ独り立ちを図る
◇自分のよさを伸ばす

どうだん賞

小学生（少年期）
◇周囲との良好な関わり方を学ぶ
◇自分の意志を言葉ではっきり伝える
◇自分の決めたことをやりぬく

園　児（幼児期）
◇集団生活の準備をする
◇自分でやろうとする意欲を育む

乳児期
◇親と子の愛情の絆をしっかりと結ぶ

妊娠期
◇健康保持と子育てのイメージをつくる

家庭で育む

あたたかさ
愛し　愛され
親子の信頼関係を築く

かしこさ
自己抑制力を身に付け
豊かな生き方を目指す

きびしさ
ルールを守り
自分の役割を果たす

人権の視点
・子どものよさを認め励ます
・家族の絆を深める

３つの実践項目

家族のふれあい
・家族で一緒にやろう
・何でも話そう

基本的生活習慣
・あいさつ、返事にこだわろう
・親が自ら手本を示そう

食生活
・食事のマナーを教えよう
・感謝の心を育てよう

◎望ましい勤労観・職業観が育つよう，ねらいを明確にした体験活動等を位置付けるとともに，日々の生活や教育活動との関連を図り，キャリア教育の視点をもって指導を充実させる。

［健康教育］　運動に親しみ，進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる

◎健康で安全な生活の価値に気付き，その実現のための実践力を身に付けるために，個や集団の実態に応じた指導方法を工夫改善する。

◎「自らの命は自ら守る」という自助の意識を醸成するために，管理職のリーダーシップの下，地域ぐるみで事故の未然防止と，災害対応に万全を期する。

○家庭と連携し，食生活や生活リズムなどの生活習慣，心身の健康状態及び安全に対する意識・行動を的確に把握して指導内容の重点化・個に応じた指導を行う。

［特別支援教育］　一人一人の教育的ニーズに応じ，自立し社会参加するための基盤となる力を育てる

◎管理職のリーダーシップの下，特別支援教育コーディネーターを中心として，園小中及び特別支援学校等関係諸機関と連携を図り，組織的に支援の充実に努める。

◎本人・保護者との合意形成及び関係機関との連携の下，「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用し，一人一人が能力を発揮し，主体的に活動できるよう指導内容や指導方法，評価を工夫改善する。

○社会性や豊かな人間性等の生きる力を身に付けるために，交流及び共同学習を，計画的・継続的に実施する。

［多文化共生］　異文化を理解し，異なる文化をもった人々との共生する態度を育成する

○外国人の子どもと，互いの文化を尊重することができるよう指導する。

［ふるさと教育］　ふるさとをよく知り，ふるさとへの愛着を育む

◎学校・家庭・地域社会が連携して，富加町の自然や人と触れ合う体験活動を充実させ，ふるさとへの誇りや愛着を育てる。

全体に関わっての配慮事項

1　安心安全を第一とした教育活動を展開することを常に念頭に置く。健康安全や事故防止，情報モラル等に結びつく学習･生活環境及び園児・児童・生徒の行動に十分留意するとともに，緊急時においては命を守りきることを最優先した迅速かつ適切な対応に徹する。また、食物アレルギーや医療的ケアなど身体面で特別な配慮を必要とする児童への対応等を、学校と関係機関とが連携して組織的に行う。

2　いじめや不登校の未然防止に努め，発達段階に合った SOS の出し方教育や教育相談の方法等を工夫する。

3，学校運営協議会の委員や地域学校協働活動の方々との連携を図り，多様な人とつながり，関わる力を育む取り組みを推進する。

4　読書活動に積極的に取り組み，様々な場において読み聞かせを位置づけ，本の楽しさと有用感を実感できる指導を推進する。

5　園児・児童・生徒や保護者等との信頼関係を築くとともに，体罰や行き過ぎた指導の根絶，児童虐待の発見・通告に努め，人権尊重の気風がみなぎる園・学校づくりを推進する。

6　常に報告・連絡・相談を行い，組織だった動きの中で園・学校の運営を行い，有事の際には管理職のリーダーシップの下，迅速に誠意をもった対応を組織的に行う。

7　地域の方への積極的なあいさつや，園児・児童・生徒の主体的な取組と相互の関わり合いを大切にする。

8　園児・児童・生徒が新しい学習・生活環境に適応できるよう，こども園と小学校，小学校と中学校の連携を深めるとともに，双葉中学校区の小学校間で積極的に交流を深め，切れ目のない支援体制を整える。

9　教育課程特例校（英語科）や文化財等,富加町の特色を生かしたふるさと教育を推進する。また、発達段階に応じて，ＳＤＧｓについて学ぶ機会を提供する

10　子ども達が主体的に学び，自ら考え，行動する力を育む教育を推進するとともに，学びの多様なニーズに応え，学びを支える環境の充実を図る。

★各施策においてエビデンスを重視した PDCA サイクルにより、事務事業の改善や推進に努める。

学校の指導

［教科指導］　知識及び技能の習得を図り，思考力，判断力，表現力等を育成し，学びに向かう力，人間性等を涵養することが実現されるよう，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う

◎習得・活用・探求という学びの過程の中で，各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら，知識を相互に関連付けてより深く理解したり，情報を精査して考えを形成したり，問題を見出して解決策を考えたり，思いや考えを基に想像したりすることに向かう「深い学び」を実現する。

○指導内容の系統性・発展性や発達段階を踏まえ，一人一人の学力・学習状況を把握し，指導目標と評価規準を明確にし，指導内容の重点化を図り，単元・授業構想を創意工夫する。

○一人一人が自ら考え，主体的に学習することで学ぶ喜びを感じられるよう，３つの見届けを通して授業を工夫改善し，個の学習状況に応じたきめ細かな指導を充実する。

○仲間とともに学び，互いに認め合う活動を通して、コミュニケーション能力や自己表現の向上を図る。

○発達段階に応じた各教科の学び方を身に付け，学習習慣を確立する指導を充実する。

○ICT 機器を有効的に活用し，個別最適化された創造性を育む教育を推進する。

［道徳教育］　自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる

◎道徳的価値の自覚を深めるとともに，道徳的実践力が育成されるよう，ねらいの明確化等確かな教材研究のもと，考え，議論する授業を通して生き方についての考えや自覚を深めるよう努める。

○学校における道徳教育の方針を明確にし，道徳教育推進教師を中心として全教師が参画する指導体制を充実する。

○道徳の時間（特別の教科　道徳）を要として教育活動全体を通して道徳性が養われるよう，道徳の時間（特別の教科道徳）と他の教育活動との関連を明確にした指導計画を工夫改善し，それに基づいた実践を行う。

［外国語指導］　外国語を通じて，コミュニケーション能力の素地を養う

◎外国語を用いたコミュニケーションの楽しさを実感し，積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿を生み出す指導方法等を工夫する。

○一人一人が安心してコミュニケーション活動に参加できる学習集団の育成に努めるとともに，全教職員で効果的な指導が行われるよう学習環境や指導体制を整える。

［総合的な学習の時間］探究的な学習を通して，よりよく問題を解決する資質や能力を育てる

◎身に付けた知識や技能等を総合的に働かせ，町や学校の特色を大切にした意図的な体験活動と言語活動を通した，探究活動を推進する。

○学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえ，育てようとする資質や能力及び態度，各教科等との関連を明確にし，課題意識が連続発展するよう全体計画や指導計画を工夫改善する。

［特別活動］　所属感を高め，よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的，実践的な態度を育てる

◎自発的，自治的な活動を展開し，一人一人の児童，生徒が自己肯定感と自己有用感をもつことができるよう指導・評価を工夫改善する。

○学級の諸問題を自治的に解決する活動を通して，望ましい人間関係や学級集団としてのまとまりを育て，学級経営の充実を図る。

［生徒指導］　共感的な理解に徹し，望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てる

◎一人一人が存在感や所属感，自己有用感，達成感を味わい，望ましい人間関係を築くことができるよう，学校ぐるみで教育活動の充実を図る。

◎不登校や問題行動（いじめ，暴力行為，インターネット上のトラブル等）については，全教職員が常に危機意識をもち，未然防止・早期発見・早期対応に組織的に取り組む。

○自他の生命を尊重し，倫理観や規範意識を向上させると共に人権教育の充実に取り組む。

○信頼と愛情に基づく共感的な理解に徹し，日常の僅かな変化を捉え，適切な対応ができるよう，教育相談を充実する。

［進路指導・キャリア教育］　自己の生き方を考え，主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる

◎主体的に将来の夢や希望の実現に向かえるよう一人一人に自分の能力や適正，多様な可能性に気づかせる指導をする。

地域社会の教育力の向上

社会教育の重点と施策

社会にみられる課題を，子どもや家庭だけの問題としてとらえるのではなく，社会全体の問題として受け止め，家庭，学校，地域がさらに連携を強められるよう，地域学校協働活動の仕組みをつくり，子ども達がさまざまな人たちと交流できる機会をつくるとともに，子ども達が主体的・意欲的に学び「生きる力」を育む活動の充実や，地域の子どもを地域で育てるための体制づくりを推進します。

公民館は町民一人一人の趣味や特技を生かし，自己の知識や技術を高めることとコミュニティーを構築することに力を入れます。また社会的に必要な事項については学習の機会を提供し，地域の教育力向上に寄与する生涯学習の振興に努めます。

重点① 共に学び合う生涯学習社会の構築

施 策

◇住民のニーズに合った幅広い講座や教室の開設
◇青少年育成のための指導者と活動機会の提供
◇個人のスキルを地域社会に還元する活動の支援
◇高齢者の学習機会の提供と社会参加の推進
◇図書室の整備と活用
◇生涯学習意識の啓発と普及

関連事業

◇マイ講座
◇ふれあいオンステージ
◇町民まつり文化部門展示
◇生涯学習情報誌の発行
◇生涯学習アドバイザー事業

重点② 生涯学習基盤の整備

施 策

◇タウンホールとみかを核とした
　公民館等施設の適切な整備と活用

関連事業

◇特別講座
◇貸館事業
◇ロビー展示
◇公民館清掃

重点③ 生涯学習推進体制の整備

施 策

◇生涯学習推進のための人材の確保と育成
◇自主的活動グループの活動支援
◇幅広い層のボランティア活動の連携と支援
◇読書・読み聞かせサークルの育成
◇地域学校協働活動の推進

関連事業

◇生涯学習アドバイザー
　養成スクーリング
◇青少年を守るつどい
◇絵本ライブ
◇読書サポーターズ
◇ＣＳサポーター　学び部
　安心安全部

家庭の教育力の向上

家庭教育の重点と施策

家庭は，家族とのふれあいの中で子どもの「生きる力」の基礎を育む場であり，全ての教育の出発点です。子どもの人格形成に対して責任を負うのは家庭であるとの認識に立ち，特に「あたたかい心」「他とうまくかかわり合いながら生きるかしこさ」「自分の決めたことをやり通すきびしさ」を育てることに力を入れます。「家庭教育三つの実践項目」を柱に，家庭教育を推進する中で読書活動を核とした家庭教育の事業を実施します。また，関係機関が連携して子育てに不安や悩みをもつ保護者に対する相談や支援体制の整備も行います。

重点① 家庭教育を推進するリーダーの育成

施 策

◇教育担当者との共通理解と共通した指導
◇学級生主体の家庭教育学級の開催

関連事業

◇家庭教育学級運営会議
◇家庭教育学級リーダー研修会
◇各期家庭教育学級

重点② 効率的・効果的な家庭教育学級の運営

施 策

◇子育て支援センター，福祉保健課，こども園，あゆみ教室，社会福祉協議会，学校との連携
◇町の行事，講座等の積極的な利用

関連事業

◇子育て支援ネットワーク会議
◇乳幼児連絡会
◇青少年育成関連事業

重点③ どの保護者にも情報が伝えられる家庭教育学級の運営

施 策

◇家庭教育学級の運営スタイルの工夫
◇社会教育だよりを通じての啓発

関連事業

◇家庭教育学級運営会議
◇青少年育成関連事業
◇情報誌「マイタウン」の発行

重点④ 子どもの読書活動の啓発と普及

施 策

◇子どもの読書活動推進計画の活用
◇本に親しむ環境づくり
◇青少年育成研修会と家庭教育学級の連携

関連事業

◇ブックスタート
◇ブックスタートぷらす
◇絵本ライブ　◇おはなし会
◇伝えたい　わたしの一さつ

重点⑤ 子どもの基礎学力定着のための家庭学習支援

施 策

◇学校と家庭の連携
◇家庭教育学級での啓発

関連事業

◇家庭教育学級　◇ＰＴＡ活動
◇園小中ジョイント会議

重点⑥ 家庭教育参画の啓発

施 策

◇父親も参加しやすい講座の開催
◇社会教育だよりを通じての啓発

関連事業

◇パパママ教室
◇各期家庭教育学級
◇情報誌「マイタウン」の発行

園・学校の教育

富加町の教育目標

生涯にわたり　充実した人生と活力あふれる町づくりに
主体的に参画する　豊かな人間性の育成を図る

めざす子どもの姿

思いやる子　自ら学ぶ子　やりぬく子

方　　針

〇一人一人に「生きる力」を育む指導をする
〇園・学校の教育目標の具現に徹し，活力に満ちた特色ある経営をする

たくましく生きるための

共に生きる力	自ら学ぶ力	やりぬく力
思いやりの心をもち 他者と関わり合う力	主体的に学び 課題を解決する力	夢や志をもち やりぬく力

子育ての貫く視点　**自立　・　共生　・　創造**

重　　点

園・学校経営　全職員が協力して，活力ある園・学校経営をする

◎管理職は確固たる保育・教育理念をもち，リーダーシップを発揮するとともに，全職員を生かす機能的な運営組織を確立する。

◎児童の理解の質を高める新しい授業スタイルを提供するため，あらゆる学習の基盤となるようＩＣＴ環境の整備及び活用を推進する。

◎園児・児童・生徒の命を守りきることを最優先に考え，家庭・地域・関係機関等との連携強化を図り，危機管理体制を確立し，安心・安全な学校づくりを推進する。

〇保育所保育指針・学習指導要領を踏まえ，園・学校や地域の特色等を生かした創意ある保育計画・教育課程を編成・実施する。

〇園・学校評価や児童の実態等を学校経営や指導の改善に生かし，その状況を公表することにより，開かれた園・学校づくりを推進する。

研修　自己の課題を明確にし，主体的に研修を進め，確かな指導力を身に付ける

◎保育士・教育公務員としての使命を自覚するとともに，園・学校や自己の課題を明確にし，組織的・継続的に研修を行う。

◎授業に ICT を効果的に活用するための研修，児童に ICT 活用や情報モラルについて指導する力を高める研修を行う。

〇特別な支援を必要とする園児・児童・生徒の教育的ニーズに対応するため，全職員の指導力向上及び園内・校内の支援体制充実について，組織的・計画的に研修を行う。

園の指導

［保　育］　家庭との緊密な連携の下に，子どもの状況や発達過程を踏まえ，こども園における環境を通して養護及び教育を一体的に行う

◎こども園の職員は専門性を認識し，組織の一員としてこども園の課題の共通理解を図りながら取り組む。

〇保護者の気持ちにより添いながら家庭との連携を密にして，保護者の養育力向上につながる支援を行う。

〇子どもの発達過程を踏まえ，発達の個人差に留意し，園児相互の関わりを通して養護・教育する。

〇計画的に保育環境を構成し，環境を通して養護と教育が一体的に展開されるようにする。